

ペットの事、 もっと知りたい！

～犬・猫とキモチふれあう付き合い方～

鹿児島県動物愛護センターで保護されている犬・猫の写真や動画を見て癒されつつ、動物愛護や適正飼養に関するお話を伺い、愛しいペットとの適切な付き合い方を学びました。今からペットを飼おうと考えている人や、すでにおうちで飼っている方を中心にご参加いただきました♪

日時 令和2年11月28日(土) 10:30～12:00
場所 かごしま環境未来館 2階多目的ホール
講師 小出 真悟(鹿児島県動物愛護センター 技術主査)



講師の小出真悟さん。
獣医師として動物病院に勤務されたのち、鹿児島県職員となり様々な職務を経て県動物愛護センターへ。
動物愛にあふれるお話と優しい雰囲気、受講者から「ほっこりした」とご感想をいただきました。

鹿児島県動物愛護センターの特徴はなんといっても「処分施設を持たない」こと。動物舎は防音・消臭設備を備え、猫ふれあい室、犬とふれあえる屋外多目的広場も併設されており、動物と周辺環境に配慮した作りになっています。
譲渡対象犬猫は成犬・子猫が多く、日々職員さんの丁寧なお世話を受け、人とのふれあいを重ねながら新しい飼い主を待っています。



飼い主から逃げた・捨てられたペットによって環境や生態系に影響が生じた例として、奄美大島の「ノネコ問題」を取り上げていただきました。「ノネコ」とは、野生化した元飼い猫のことで、アマミノクロウサギなどの希少生物に対して、捕食、ウイルス感染などさまざまな問題を引き起こしています。しかし、その原因は猫ではなく、元の飼い主にあります。そのため、特に奄美大島では、猫を飼う際に独自の条例を制定し、希少動物の保護に取り組んでいます。ペットと適切に付き合うことはペットや身近な地域社会のみならず他の生き物のためにもなる、ということを知りました。

本講座は、鹿児島県の施設(県動物愛護センター、県保健所、県動物管理所)で犬猫の譲渡を利用する際の「譲渡前講習会」を兼ねており、譲渡前講習受講済証の交付を希望される方も多く、譲渡への関心も高まり非常に意義深い講座となりました。